

2009 北九州市 環境モデル都市行動計画 (案) 2050

北九州市

2009.1.30

アジアの低炭素社会経済を拓く環境フロンティア

<テーマ>



<理念>

市民の環境に対する「想い」
「堅固なパートナーシップ」



市民の環境力の基盤に立った
ストック型社会の構築



新しい価値観・文化の下での
世代を超えて
豊かで活力あふれる社会

<提示・実現>

- 産業都市としての低炭素社会のあり方
- 少子高齢化に対応した低炭素社会のあり方
- アジアの低炭素化に向けた都市間環境外交のあり方

低炭素社会づくり

地球温暖化
問題の解決

都市活力
の増大

アジアへの
発展・交流

<温室効果ガス削減目標>

2005年
1560万t

2030年：470万t削減
2050年：800万t削減
(アジア地域：2340万t削減)

5つの行動

取組み方針

① 環境が先進の街を創る

(低炭素社会を実現するストック型都市への転換)

- 先進モデル街区の形成
- 省エネ・新エネ建築物の普及促進
- 歩いて暮らせる集約型都市構造への転換
- 高効率交通システムの構築
- 物流・交通基盤整備における低炭素化
- 中心市街地の新エネ・省エネ導入モデルの整備
- 都市インフラでのエネルギー転換、再利用システムの構築
- 都市緑化の増進

② 環境が経済を拓く

(低炭素社会に貢献する産業クラスターの構築)

- 産業エネルギーの広範な活用
- 事業所の高効率エネルギー・システムの構築
- 工場・事業所への新エネルギーの導入
- 資源リサイクルの推進(エコタウン事業等)
- 環境技術・製品の開発促進
- 低炭素社会を支える技術基盤の整備
- 低炭素社会を支えるIT基盤の整備
- 環境をテーマとした産業立地戦略

③ 環境が人を育む

(低炭素社会を学び行動する学習・活動システムの整備)

- 低炭素社会の「見える」「感じる」が実感できる仕組みの整備
- 低炭素社会総合学習システム(Super CAT)の整備
- 北九州市環境首都検定の充実・拡大
- 特色ある学校教育の充実・強化
- 環境モデル都市エコツアーアの実施
- 環境技術・システムに関する高度専門人材育成

④ 環境が豊かな社会を支える

(低炭素社会づくりを通じた豊かな生活の創造)

- 新エネ導入などの全市的運動の展開
- 環境行動のプラットフォームの整備
- 世界の環境首都づくりで育まれた市民活動の発展
- 環境文化の発信
- 近隣・九州・山口等の自治体との連携
- 環境モデル都市北九州レポート

⑤ 環境がアジアの絆を深める

(低炭素社会のアジア地域への移転)

- 環境協力都市ネットワークを活用したコ・ベネフィット低炭素化協力
- アジア地域の低炭素技術専門家の育成
- 環境国際ビジネスの推進
- アジア諸都市の低炭素化に関する研究の推進
- アジア低炭素化センター(仮称)の設置

人づくり・暮らしづくり

- 地域の絆(コミュニティ)の再生
- 地域づくりの担い手・活力の増大
- 知的都市基盤の強化

都市づくり

- 長寿命・共有による資産有効活用
- 安全で人に優しい街
- 人が集まる魅力の創造

産業づくり

- 成長産業の育成・雇用創出
- 低炭素ビジネスモデルの創造
- 農業振興・森林再生

絆づくり

- 周辺都市・地域との連携強化
- アジア諸都市との交流拡大
- 国内外からの観光者の創出

地域活力の創出(北九州グリーンフロンティアプラン)

短・中・長期の取組みと推進体制

-2-

[短期目標 2009～2013]

- 低炭素社会のあるべき姿を具体的に描く
- 市民が見て感じるリーディングプロジェクトの実施
- 目標を定めながら全市民的運動を展開
- 世界に誇れる環境学習システムを構築
- 市役所・職員の率先垂範

[中期目標 2014～2030]

- 本格的な低炭素社会変革へ取り組む
- 低炭素社会と経済社会との融合を図る
- 取り組み成果をモデルとして世界に発信

[長期目標 2031～2050]

- 新しい価値観・文化の下、活力があり市民が将来にわたって安心して豊かに暮らせる社会の確立

2009

2013 / 2014

2030 / 2031

2050

本格的社会変革への挑戦

新しい価値観・文化の定着

基盤づくり

- 近隣自治体 ●九州内自治体
- 国外環境都市



連携

低炭素社会づくり推進体制

北九州市環境モデル都市 地域推進会議

- <構成団体>
- 北九州衛生総連合会
 - 北九州市女性団体連絡会議
 - 北九州青年会議所
 - 環境市民活動サポートセンター
 - 北九州活性化協議会
 - 北九州商工会議所
 - 北九州産業学术推進機構
 - 北九州市など
- アクションプランの策定、推進、プロジェクトの実施

北九州市環境モデル都市庁内推進本部

庁内推進会議

- 本部長／市長
- 副本部長／副市長

プロジェクトチーム

- エネルギー・産業分野
- 都市構造分野
- 市民生活分野
- アジア展開分野

低炭素都市推進協議会

- | | |
|----------|---------|
| 下川町(北海道) | 帯広市 |
| 宮古島市 | 千代田区 |
| 水俣市 | 横浜市 |
| 北九州市 | 富山市 |
| 椿原町(高知県) | 飯田市 |
| 堺市 | 京都市 豊田市 |



参加
連携

環境モデル都市国際セミナー 2009年12月14日

北陸（低炭素都市推進協議会）会長が麻生首相に宣言文を手渡す 2009年12月14日

低炭素社会としての「見える化」「感じる化」プロジェクト

-3-



市民運動展開 おひさまと風のまち 100万kwプロジェクトなど

-4-

北九州市民100万本植樹



太陽光発電



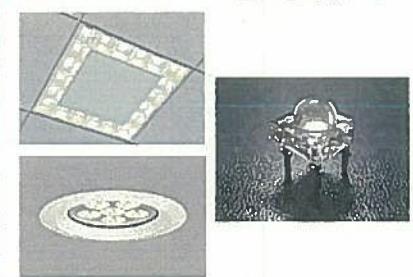
EV・pHV



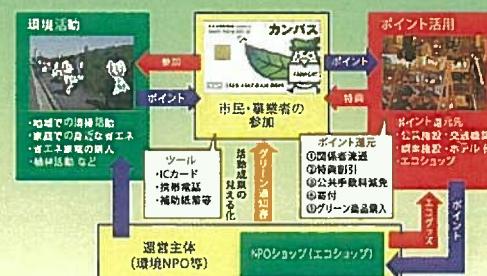
屋上緑化



LED照明



市民環境行動のプラットフォーム 北九州市カーボンオフセット エコポイントシステム



環境バスポート・グリーン通知書



自分の環境活動が地球温暖化防止の通知表に

北九州市民節電所

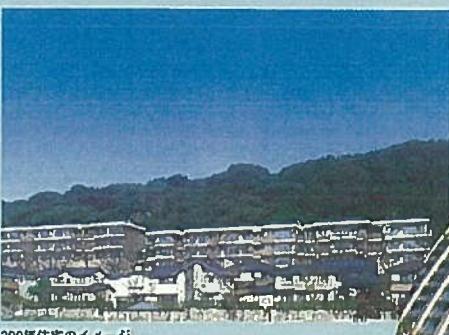


インターネット活用で各世帯の省エネ量の「見える化」

① 環境が先進の街を創る（ストック型都市への転換）

-5-

省エネ・新エネ建築物の普及促進



低炭素都市構築・都市システムへの転換



太陽光発電



屋上緑化（北九州市内のビル）



太陽光発電・屋上緑化などによる 新エネルギー・省エネルギー都市の実現

●先進モデル街区の形成

●省エネ・新エネ建築物の普及促進

●歩いて暮らせる集約型都市構造への転換

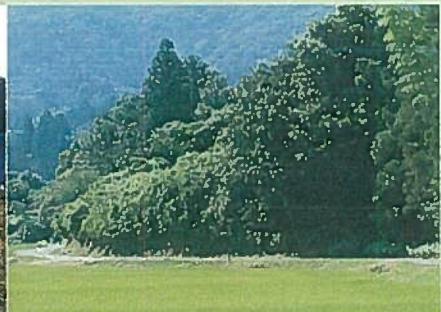
●高効率交通システムの構築

●物流・交通基盤整備における低炭素化

●中心市街地の新エネ・省エネ導入モデルの整備

●都市インフラでのエネルギー転換・再利用システムの構築

●都市緑化の増進

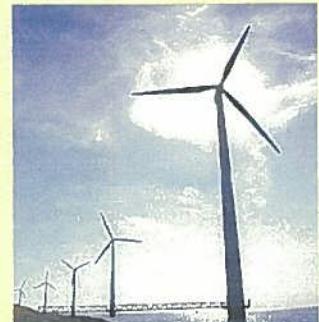


② 環境が経済を拓く（産業クラスターの構築）

工場の副生水素を活用した水素タウンの建設



メガソーラー発電所・大規模洋上風力発電所の設置



北九州学術研究都市（若松区）



低炭素社会実現に向け必要とされる技術開発を产学研連携で推進

- 産業エネルギーの広範な活用
- 事業所の高効率エネルギー・システムの構築
- 工場・事業所への新エネルギーの導入
- 資源リサイクルの推進（エコタウン事業等）

最先端のデータセンターの整備をはじめ
グリーンITの積極的導入などIT基盤を整備

- 環境技術・製品の開発促進
- 低炭素社会を支える技術基盤の整備
- 低炭素社会を支えるIT基盤の整備
- 環境をテーマとした産業立地戦略

③ 環境が人を育む（学習・活動システムの整備）

-7-

環境学習施設を低炭素社会に即して充実し
面的見える化事業と一体的に体系化を図る

都市全体が環境学習施設
"Super CAT" [※] 機能の構築

※CAT:Center for Alternative Technology



環境教育を特色ある学校づくりの重点に位置づけ
北九州独自の教育プログラムを策定

- 低炭素社会の「見える」「感じる」が実感できる仕組みの整備
- 低炭素社会総合学習システム (Super CAT) の整備
- 北九州市環境首都検定の充実・拡大

北九州市環境首都検定制度の充実・拡大



環境モデル都市にふさわしい
充実したエコツアーを広く展開

- 特色ある学校教育の充実・強化
- 環境モデル都市エコツアーの実施
- 環境技術・システムに関する高度専門人材育成

④ 環境が豊かな社会を支える（豊かな生活の創造）

-8-

北九州市民環境パスポート事業を見える化を導入しながら全市的に拡大



さまざまな環境活動を低炭素社会づくりの視点からさらに発展・拡大を図る



近隣自治体や国内外の環境モデル都市との交流を通じ学び合い取組みの発展につなげる



環境モデル都市北九州リポートの周知と取組みの検証・改善・追加を行う

- 新エネ導入などの全市的運動の展開
- 環境行動のプラットフォームの整備
- 世界の環境首都づくりで育まれた市民活動の発展

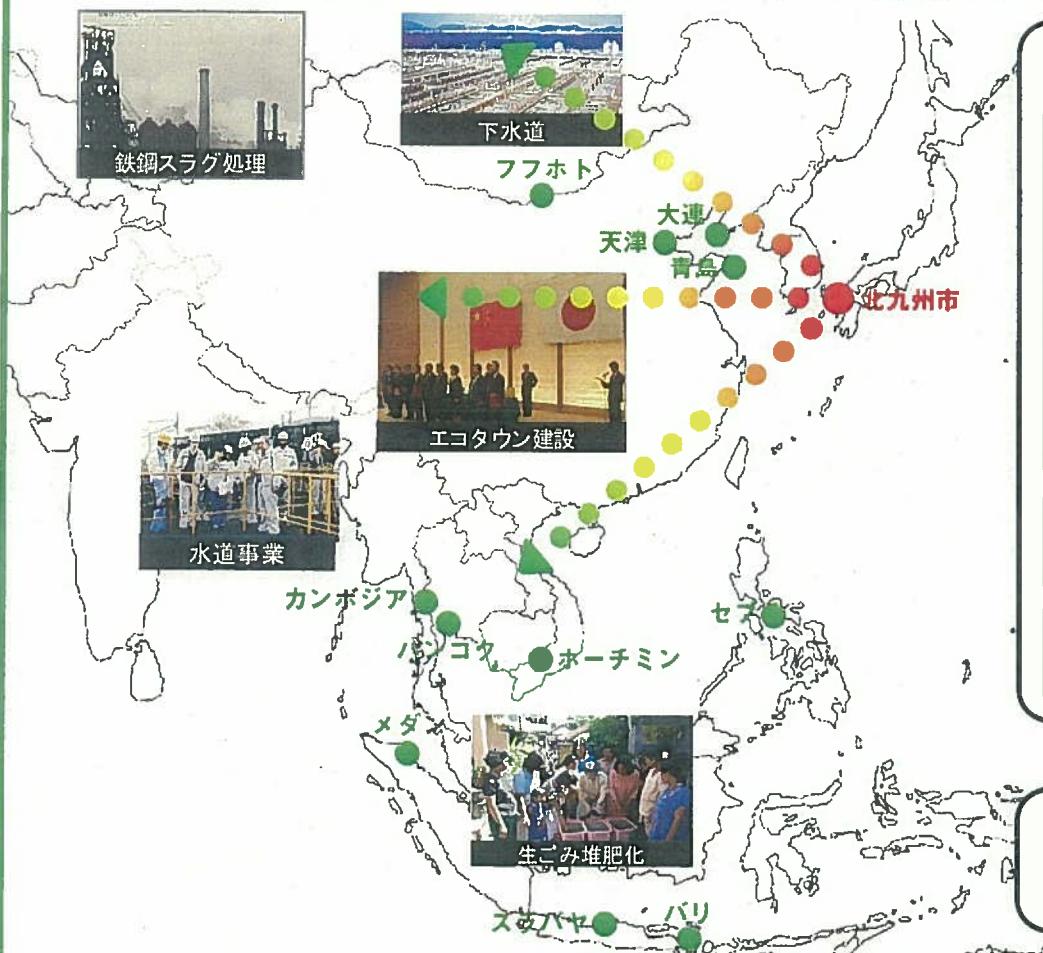
- 環境文化の発信
- 近隣、九州・山口等の自治体との連携
- 環境モデル都市北九州レポート

⑤環境がアジアの絆を深める（アジア地域への移転）

-9-

チャラビンスク

（仮称）アジア低炭素化センターを整備



アジア低炭素化センター

低炭素化の取組みの総合化

- 計画づくり
- 要素技術の集積
- 運用システム
- 制度構築
- インセンティブ付与
- 資金調達
- 人材育成 等

北九州市の技術・人材等の集約

相手都市の状況に適したアレンジ

KITA

- 移転コーディネート
- 移転スキームづくり

北九州市

- 都市間外交での橋渡し
- 多様な主体の協働化

JICA・JBIC等の協力スキーム

- アジア経済・環境共同体構想
- IGES等の地球環境政策研究

企業

低炭素技術・
低炭素製品 等

NPO

環境意識・
低炭素生活 等

大学
研究機関

低炭素化技術・
低炭素システム 等

行政

政策形成・
制度づくり 等

- 環境協力都市ネットワークを活用した
コ・ベネフィット低炭素化協力
- アジア地域の低炭素技術専門家の育成

- 環境国際ビジネスの推進
- アジア諸都市の低炭素化に関する研究の推進
- アジア低炭素化センター（仮称）の設置